

平成25年12月1日
今週のベストショット



和白交流グラウンド第2試合 レッドサンデーズ 対 雁の巣ライナーズ戦
初回、満塁で同点に追いつく明瀬航選手のライト線へのタイムリーツーベース！

写真：三苦ホーネッツ 洲上祥太

奈多グラウンド① ソルトベイズターズ、しぶとく逆転勝ち！！

ソルトベイズターズ（4勝6敗1分）0 1 2 0 0 2 5 鶴野○ー酒井
新町ウインズ （7勝5敗1分）0 1 2 1 0 0 4 藤田●ー今林

HR：藤田（新町ウ） 3BH：坂本（ソルト） 2BH：坂本（ソルト）

肌寒い中行われたこの試合は二回表、ソルトベイズターズの八番坂本選手がツーベースヒットを放ちランナーを還して1点先制。その裏、ウインズは相手のミスで出したランナーを八番坂本選手がセンター前ヒットで還す。三回表、攻めるソルトベイズターズは2アウトまで追い込まれるが、守るウインズがここから痛恨の3連続失策！そして六番鶴野選手のヒットも絡みソルトベイズターズに2点が加わる。このままソルトベイズターズのペースで試合が進むかに思われたが、その裏ウインズは1アウトからデッドボールで出塁し一死一塁とする。ここで四番の藤田選手。甘く入った球を力いっぱい振り抜き、先のエラーを帳消しにするライトフェンスオーバーの2ランホームランを放つ。これで同点としたウインズは、次の回も1点を加え逆転に成功する。続く五回は両者無得点とし、六回表、ソルトベイズターズの攻撃。七番代打の真弓選手はフォアボールで出塁。続く八番坂本選手は二回にツーベースヒットを放っておりタイミングはバッチリのものであった。レフト線へスリーベースヒットを放ち、同点とする。そして九番中村祐人選手。監督に何か耳打ちされて打席に立ち、その2球目。ランナーがスタートすると同時にバントの構えに入り、藤田投手の剛速球をしっかりと殺してサード前へ転がしスクイズバント見事成功。大きな1点をもぎ取る。その裏ウインズは、反撃の糸口を掴むことが出来ずにゲームセット。お互いに作ったチャンスを逃さなかった好ゲームであった。（写真、記事：新町パイレーツ 安部貴大）



ソルトベイスターズ先発 鶴野投手。



ウインズ先発 藤田投手。



マルチヒットのソルト坂本選手。



今試合 2 安打のウインズ八田選手。



三回裏回表ソルト代田替藤由選手が決勝の特大打を決める。



ソルト八柄選手 決死のヘッドスライディングもアウト。

奈多グラウンド② 寒い雨天の試合で三友クラブ圧勝！

三友クラブ (4勝8敗1分) 4 2 2 7 2 1 7 足達○ー谷崎

ソルトベ이스ターズ (4勝7敗1分) 0 0 0 2 2 4 中村(耕)●、中村(祐)、八柄一酒井

HR : 柿崎、松尾(三友ク) 2 BH : 谷崎2 (三友) 盗塁 : 竹岡(三友ク) 中村(健) (ソルト)

息も白くあいにくの雨天となったこの試合。一回表三友クラブの攻撃はソルトベ이스ターズ先発の中村(耕)投手の制球が定まらずいきなりの2四球などで満塁とすると四番柿崎選手が左中間を破る満塁本塁打で4点先取。その後も相手のミスなどにより順調に加点していく三友クラブ打線。三友クラブ先発の足達投手は三回まできっちり打たせて取るパーフェクトピッチ。四回五回と何とかチャンスを作り二点ずつ返したソルトベ이스ターズだったが反撃もここまでで終わってみれば大差の試合となってしまった。三友クラブは足達投手の好投とチャンスに柿崎選手や松尾選手の本塁打できっちりランナーを返すなどバランスが良かった。対するソルトベ이스ターズはこの日2試合目という事もあり間があいてしまい気温も下がって全体的に体が動いていなかった。

(記事 : 新町ウインズ 野中一史、写真 : 早田主大)



寒空の下、試合開始前整列。



先発したソルトベ이스ターズ中村(耕)投手。



試合開始直後は、雨が降っていなかったが・・・。



初回満塁HRを放った柿崎選手に抜かれそうになる谷崎選手。



四回裏、チーム初安打を放ったソルト八柄選手。



五回表、ライナーでオーバーフェンスを放った松尾選手。

和白交流グラウンド① ブルーマーリンズ一時逆転も勝利へは遠くフレンズに逆転勝利

三苦フレンズ (4勝 9敗0分) 1 0 4 3 4 1 13 山口○ー生野(拓)

ブルーマーリンズ (1勝12敗0分) 4 0 0 0 0 0 4 綱脇●ー尾田

HR: 寺山(三苦フ) 末松(ブルー) 3BH: 生野(猛)(三苦フ)

一回表、三苦フレンズは先頭生野(拓)選手がレフト前へのヒットで出塁すると果敢な盗塁で三塁へ進み3番生野(猛)選手の犠牲フライで幸先よく1点を先制する。するとその裏、ブルーマーリンズ先頭の末松選手が山口投手の速球を鮮やかに跳ね返す先頭打者本塁打で反撃の狼煙を上げると、この回4安打4得点と逆転し、勝利への予感を感じさせる。しかし、フレンズも三回表、制球を乱したブルーマーリンズ綱脇投手から3つの四球を選び、4点を挙げ再逆転すると、四回には生野(猛)選手の三塁打で突き放し、五回には寺山選手の本塁打でダメ押しした。フレンズの山口投手は二回から立ち直り、ブルーマーリンズ打線を抑え、9点の大差で快勝した。この試合、フレンズ生野(拓)選手がすべての打席で打点を挙げる3安打、6打点の活躍が輝いた試合だった。

(記録: 奈多フェニックス 今林文彦、写真: 今林英二)



三苦フレンズ撃破ならずBマーリンズ綱脇投手。



二回以降立ち直りブルーマーリンズを初回以外シャットアウトに抑えたフレンズ山口投手。



反撃の狼煙を上げる本塁打を放ったブルーマーリンス末松選手の背中（背番号1）。



五回表、ダメ押しの本塁打を放ったフレンズ寺山選手。



この日すべての打席で打点を挙げる活躍、フレンズ三番生野（猛）選手。

和白交流グラウンド② ライナーズ明瀬航選手の鋭い一打がチームを乗せた！

レッドサンデーズ（3勝8敗1分）3011 5 田中●、嶋村一前田

雁の巣ライナーズ（6勝3敗3分）620X 8 有馬○ー鳥越

3BH：壱岐（レッド） **2BH**：八島2、田中（レッド）、宇野、明瀬航（雁の巣） **盗塁**：有馬（雁の巣）

不穏な天気の中始まったこの試合。初回レッドサンデーズ三番八島選手が2アウトから左中間へ二塁打を放つと、田中・神田選手がフォアボールで満塁として、ワイルドピッチで先制する。続く六番嶋村選手がセンターへ2点タイムリーを放つなど初回到3得点を挙げた。その裏雁の巣ライナーズは、一番中口選手がヒットで出塁すると二番明瀬旭選手が四球、無死一二塁からサードゴロでランナーが入れ替わって、四番宇野選手のタイムリーで一点を返すと、五番鳥越選手が続き満塁とする。この場面で打席に入るのは、チーム最年少の明瀬航選手。緊張しながらも初球を振りぬき、ライト線を破る二塁打を放った。この一打で同点に追いつきWPやPBで逆転に成功したライナーズはこの回6点を挙げた。逆転したいレッドサンデーズだったが、チャンスで一本が出ず惜しくも勝利を逃した。途中雨が強くなりもしたが、選手達は雨や寒さに負けず元気にプレイし、その姿はまるで野球少年のようだった。（記事、写真：三苦ホーネッツ 洲上祥太）



一回表、2点タイムリーを放つレッド嶋村選手。



一回裏レフト前ヒット！ライナーズ鳥越選手。



一回裏、ライナーズ明瀬航選手のライト線への同点二塁打。



三塁打を放ちベンチに迎え入れられるレッド壱岐選手。



雨の中を一人で投げ抜いたライナーズ有馬投手。

第25週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第25週、12月1日は途中雨に見舞われる寒さの中、4試合が行われました。

奈多グラウンド第1試合のソルトベスターズ対新町ウインズ戦は、三回まで一進一退の攻防が続いたが、四回裏にウインズが遂に勝ち越し、初めてリードを奪う。今年好調ウインズの主力の藤田投手は、自身もこの試合HRを放っており、最後も力でねじ伏せるかに思われたが、ソルトベスターズは六回表に七番真弓選手の四球、八番坂本選手の3ベースと九番中村祐人選手のスクイズで逆転！下位打線が奮起して貴重な白星を掴んだ。ソルトベスターズ石井監督もしてやったりだが、この状況で藤田投手の球をスクイズ成功させた中村祐人選手の価値ある打席だった。

奈多グラウンド第2試合の三友クラブ対ソルトベスターズ戦は、劇的勝利のソルトベスターズが連勝を狙ったが、先発中村耕一郎投手をはじめ繰り出す投手が大誤算。初回三友クラブ四番柿崎選手に満塁HRを喰らうと、二回、三回に2点、四回は7点、五回とどめに松尾選手の2ラン。三友クラブは今季最多の17得点を奪い17-4で気持ち良く全日程を終了。三友クラブ三番谷崎選手も3安打、好リードで活躍を見せた。

和白交流グラウンド第1試合のブルーマーリンズ対三苦フレンズ戦は、フレンズ1点を先取して迎えた一回裏ブルーマーリンズは、最下位にあって打率十傑に入る一番末松選手の先頭打者HRで幕を開けると、初回から4点を取り逆転。しかしこれで目が覚めたフレンズ山口投手の右腕が唸り、二回以降ヒットは出るものの三塁を踏ませてもらえない。一方フレンズ打線は、一番生野拓磨選手、三番生野猛選手、五番寺山選手、九番田中澄人選手がマルチ安打を放ち13-4の逆転勝利。これで両チーム全日程終了。

和白交流グラウンド第2試合のレッドサンデーズ対雁ノ巣ライナーズ戦は、初回レッドが二死から八島、田中、神田、嶋村の連続出塁で3点を先制・・・するも、やっぱり貯金をすぐに吐き出す悪い癖。ライナーズがその裏制球定まらないレッド先発田中投手から1点を取って満塁とすると、六番今年福岡高校を卒業したばかりの新人明瀬航選手（背番号も年齢も18、平成7年3月8日生まれでWSL最年少）がライト線へ目の覚める同点二塁打。このあたりにレッド田浦右翼手は一步も動けないほどのナイスバッティング。レッドのミスもあり初回6点を奪ったライナーズは、二回裏にも四番宇野選手の二打席連続タイムリー等で2点を取り勝負を決めたかに思えた。しかしあきらめないレッドは、三回表に三連打、四回表に二連打するも、中途半端な走塁などで2点を返すのがやっと。途中激しい雨にたたられたが、制球を乱さなかったライナーズ39歳の新人有馬投手が完投で5-8と逃げ切った。

余談ではありますが、今回対戦したライナーズ明瀬航選手は八島の21歳下の福岡高校野球部の後輩にあたります。前日のOB会で現監督（とは言っても八島の11歳下の後輩）に親と子ほど離れた母校の後輩と対戦するとの話をしたばかりでした。同じ学び舎で汗を流し（勉強はそこそこ）、世代を超えて試合し会話ができるのもまたいいものですね。

WSLで同じ高校出身者（野球部、ソフト部以外でも）を募って飲んだりするのも面白いかもしれません。

あと、有馬投手は八島と高校は違いますが同級生ですね。同い年を募って飲むのもいいかも。

編集後記番外編～最終日程を前に～

WSLの皆さん、こんばんは！

さて平成25年度WSLも残すところ3試合となりました。

7：00～奈多グラウンド① レッド対ホーネッツ (審判ライナーズ)
9：15～奈多グラウンド② 奈多クラブ対ライナーズ (審判フェニックス)
7：00～和白交流グラウンド パイレーツ対ソルトベイスターズ (審判奈多サンデーズ)

既に日程を終えた皆さん、お時間がある方は最後の試合を観戦しに行っておいて下さい。

さて、今シーズンの個人タイトル争いが気になりますね。

全ての表彰記録はこの一年間の積み重ねが評価されます。

この一年どうでしたか？満足のいく成績の方もいれば、そうでない人も。

八島は後者です。四十肩に悩まされ、ボールを取ることもバットを振りぬくこともままならず・・・。

しかし、残された1試合は全力でやります。だって、まだHR王は可能性がありますから！

HR王は5本以上が対象です。4打数4HRもあるかもしれない。

規定投球回数は、試合数13×2(イニング)＝26イニング以上が対象です。

規定打席は、試合数13×2.1(端数切捨て)＝27.1(端数切捨てなので27打席)以上が対象です。

打点、HR、盗塁、勝利数、奪三振数は、上記の規定は関係なく単純に数です。

まだ試合が残っていて可能性のある方は、是非チャレンジを！

既に終えた方々はドキドキを！

しかし、表彰はこれだけではありません！

一発逆転の表彰があります。

それもたった一回のチャンスで獲れる表彰が！

いや、この場合は「撮れる」と言った方が正しいか？

それは・・・

ザ・年間ベストショット大賞！！！！

これは、数でも実績でも性別でも学歴でもテクニックでも性能でもありません。

グラウンドでのベストショットの一瞬を取り逃さない集中力とベストな構図とベストな想いです！

最終戦、審判になるチームの写真を撮る方は一発逆転を狙って頭と指をフル回転させてください。

あとは、編集部長・八島の独断と偏見と心温まるメールを送るあなたの心遣いに懸っています！

それでは、年明けの納会・表彰式を夢見て、**Y o u c a n d o i t !**